

臺灣總督府ヨリ借入	八、一六九、〇〇〇		八、一六九、〇〇〇
合 計	二〇、三八三、〇〇〇	一六一、四八〇	二〇、二二一、五二〇

第三節 第二次改訂計畫

昭和三年度

本年度に於ては昭和二年十一月認可を得たる改訂計畫及改訂計畫に依る事業費年度割額に基きて豫算を編成し工事と共に前年度より繰越したる額を追加計上して極力工程の進捗に努めたるも前述の如く烏山嶺取入隧道工事現場に於ける瓦斯爆發事故の頻出多量泥土の湧出等不可抗力に基因する障碍其の他特殊の事故發生亦尠からざりしのみならず各種構造物に於て工事の進行に伴ひ設計上更に改善を加ふるの必要起りたるも且つ諸種の關係に因り工事用地、地上物補償費等に不足を來し再び計畫を改訂するの已むなきに至りたるを以て昭和四年二月總工費を五千三百八十萬四千七十八圓に増額し増額額五百三十二萬一千餘圓の補充に付ては組合員の負擔を考慮し既定補助の率に準じ其の約半額たる二百六十六萬圓を國庫の補助に仰ぎ昭和四年度に於て之が下附を受け殘額は之を低利資金の融通に倚るべく大體總督府の諒解を得て改訂計畫を樹立し組合會の議決を経て昭和四年二月二十八日之が改訂計畫の認可を臺灣總督に申請せり。之れを便宜第二次改訂計畫と稱す。

第二次改訂計畫要項並改訂計畫に依る事業費及事業資金關係左の如し。

第二次改訂計畫要項

一、事業費ノ増額

本事業總工費四千八百十六萬三千五圓ヲ左記各項ノ事由ニ依リ五千三百八十萬四千七十八圓(架橋費補助金ヲ以テ施行スル曾文溪、官田溪、渡頭溪水橋道路兼用工事費ヲ含ム)ニ増額セムトス

(1)本別新設事業中官田溪貯水池堰堤ハ本邦他ニ類例ナキ大工事ニシテ其ノ工法ノ適否ハ直ニ本事業ノ生命ヲ左右スルニ至ルベキヲ以テ之ガ設計ニ就テハ更ニ慎重ナル調査研究ヲ要スルモノアルヲ認メ米國ヨリ斯界ノ權威者タル專門技師ヲ招聘シ設計ニ就キ充分ナル檢討ヲナサシメタル結果同技師ノ意見書ニ基キテ堰堤盛土、餘水吐及送水口等ノ設計ヲ改メタルノミナラズ同技師招聘ノコトニ決定セル當時ヨリ同技師ノ調査完了迄工事ノ進行ヲ加減セル結果施工期間ヲ延長スルノ止ムナキニ至レルト且ツ烏山嶺取入隧道工事現場ニ於テ二十數回ニ亙ル瓦斯ノ爆發及泥土ノ湧出等ニ依リ工事ノ進行ヲ阻害セラレ施工期間ヲ延長シタル等ノタメ水源工事費ニ於テ二百九十四萬餘圓ノ増額ヲ要ス

(2)本事業ハ水稻作、甘蔗作及雜作ノ三年輪作式給水方法ニ依ル計畫ナルモ從來別箇ノ水源ヲ有シ水稻作ヲ營ミ來リタル土地及低濕地ニシテ水稻作以外ノ耕作ニ適セザル土地ハ之ヲ特殊區域トシテ別途扱ヲナスタメ新ニ其ノ設備費ヲ要スルト且ツ本別計畫當時ニ於テハ既設排水路及自然ノ溪流中其ノ壅排水路トシテ利用シ得ベカリシモノ多カリシニ其ノ後豪雨ノタメ全ク埋没シ又ハ地形ノ著シク變化シ根本的改修ノ必要ヲ生ジタル等ノタメ給排水施設費ニ於テ六十三萬餘圓ノ増額ヲ要ス

(3)最近本島ニ於ケル甘蔗ノ種類ハ急速ニ大莖種ニ變ジツ、アリ又其他ノ農作物ニ於テモ農事ノ改良ニ依リ單位收量著シク増加シ從テ工事施行ニ伴フ地上物補償費及一部用地ノ買收費ニ不足ヲ來シ百二十萬餘圓ノ増額ヲ要ス

(4)本事業完成ト同時ニ解職スベキ従事員ノ退職ニ際シ支給スベキ諸給與金ニ就テハ當初豫算ニ之ヲ計上セルモ第一回ノ計畫改訂ニ於テ右ハ總工費中ヨリ之ヲ節約檢出スルコト、シ之ヲ削除セルモ何分前例ナキ大事業ニシテ豫想外ニ費用ヲ要スルモノ

アリテ其ノ餘裕ヲ生セズ而モ解職ノ際ニ於テ相當ノ給與ヲ爲スハ常例トスル所ナル已ナラズ給與金ニ就テハ組合規約ノ規定アリ止ムナク右豫算五十五萬餘圓ヲ計上スルヲ要ス

二、國庫補助金ノ増額及資金ノ調達

總工費ノ増加額五百三十二萬一千六百七十三圓ハ組合員ノ負擔力ニ鑑ミ之ガ救済ノ方法トシテ既定ノ國庫補助金二千四百八萬圓ヲ昭和五年度迄ニ分割下附ヲ受クルノ外更ニ昭和四年度ニ於テ既定補助ノ率ニ準ジ増加額ノ半額二百六十六萬圓ノ増額下附ヲ仰ギ昭和四年度末償還スベキ豫定二百七十七萬一千圓ノ償還財源トシテ同額ヲ同年度末ニ、昭和五年度當初ニ於テ所要百五十萬圓ヲ何モ最低利ニテ昭和五年度以降四箇年据置爾後十五箇年賦償還ノコト、シテ國庫ヨリ融通ヲ請ヒ其ノ他ノ所要資金ハ必要ニ應ジ其ノ都度普通銀行ヨリ借入レムトス

第二次改訂計畫ニ依ル事業費豫算額

區分	改訂豫算額	摘要
水源工事費	一九、六七一、九七九、〇〇〇	
幹線工事費	一〇、八四五、〇八四、〇〇〇	
支線工事費	一五、七八四、三三一、〇〇〇	
調査費	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇	
事務費	五、七三五、二七三、〇〇〇	會議費ヲ含ム
徴收費	七九一、六三六、〇〇〇	

異動地整理費	三七五、七七五、〇〇〇
合計	五三、八〇四、〇七八、〇〇〇

事業費豫算新舊對照

區分	第一次改訂計畫	第二次改訂計畫	差引豫算増△減
事務費及會議費	四、六二六、四二四、〇〇〇	五、七三五、二七三、〇〇〇	一、一〇八、八四九、〇〇〇
水源工事費	一六、七三〇、〇〇〇、〇〇〇	一九、六七一、九七九、〇〇〇	二、九四一、九七九、〇〇〇
幹線工事費	八、八七五、〇〇〇、〇〇〇	一〇、八四五、〇八四、〇〇〇	一、六五〇、六八四、〇〇〇
支線工事費	外 三一九、四〇〇、〇〇〇 一六、一六四、一七〇、〇〇〇	一五、七八四、三三一、〇〇〇	△ 三七九、八三九、〇〇〇
調査費	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇	六〇〇、〇〇〇、〇〇〇	
徴收費及異動地整理費	一、一六七、四一一、〇〇〇	一、一六七、四一一、〇〇〇	
合計	外 四八、一六三、〇〇五、〇〇〇 三一九、四〇〇、〇〇〇	五三、八〇四、〇七八、〇〇〇	五、三三二、六七三、〇〇〇

第二次改訂計畫ニ依ル事業費財源

國庫補助金 一七、〇五九、四〇〇、〇〇〇

歲 出

年度別	繰前 越年度	補國 助金庫	賦臨 課金持	負特 撥金別	雜 收 入	借 入 金	計	年度未 借入 金現在高
大正九年度	—	11000000	13000000	—	10000000	10000000	34000000	10000000
大正十年度	11,500,000	11000000	6,600,000	—	6,600,000	6,600,000	24,700,000	4,000,000
大正十一年度	5,500,000	11000000	6,600,000	—	6,600,000	1,000,000	20,700,000	6,000,000
大正十二年度	5,700,000	1,000,000	6,600,000	—	5,700,000	1,000,000	13,300,000	7,700,000
大正十三年度	5,600,000	1,000,000	7,000,000	—	6,000,000	1,000,000	13,600,000	9,000,000
大正十四年度	9,800,000	11,000,000	7,100,000	—	7,100,000	11,000,000	35,000,000	11,300,000
大正十五年度	1,000,000	1,000,000	7,000,000	—	7,000,000	4,000,000	19,000,000	1,600,000
昭和元年度	1,000,000	1,100,000	7,000,000	—	7,000,000	10,000,000	19,100,000	10,000,000
昭和二年度	2,500,000	1,100,000	7,000,000	—	7,000,000	10,000,000	21,600,000	11,000,000
昭和三年度	2,500,000	1,000,000	7,000,000	—	7,000,000	10,000,000	21,500,000	11,000,000
昭和四年度	—	1,000,000	7,000,000	—	7,000,000	10,000,000	18,000,000	11,000,000
昭和五年度	—	1,000,000	7,000,000	—	7,000,000	10,000,000	18,000,000	11,000,000
昭和五年度初	—	1,000,000	—	—	9,000,000	1,000,000	11,000,000	11,000,000
合計	—	21,700,000	61,600,000	10,000,000	100,000,000	66,700,000	260,000,000	—

第二次改訂計畫ニ依ル事業費年度別歳入出豫算額

歲 入

臨時賦課金	八、一七〇、二四四、〇〇〇
特別負擔金	七五四、九一六、〇〇〇
雜收 入	一、〇〇五、八五八、〇〇〇
銀行借入金	一九、九八三、七〇〇、〇〇〇
國庫借入金	一八、七三五、〇〇〇、〇〇〇
合計	七五、七〇九、一一八、〇〇〇
工事期間中借入金償還	一、二、五七五、三三四、〇〇〇
借入金利子償還	八、五一一、〇七三、〇〇〇
雜 出	八一八、五五七、〇〇〇
翌年度へ繰越金	八六、〇〇〇
合計	一一、九〇五、〇四〇、〇〇〇

年度別	新設				計	雑出	借入金	借入金	計	翌年度繰入金
	工事費	事務費	徴収費	地費						
大正九年度	20,113.00	1,800.00	5,000.00	11,900.00	21,900.00			2,700.00	24,600.00	1,500.00
大正十年度	26,333.00	3,010.00	11,140.00	13,140.00	53,623.00			3,600.00	57,223.00	5,510.00
大正十一年度	36,156.00	5,000.00	13,900.00	13,900.00	74,956.00			1,200.00	76,156.00	5,700.00
大正十二年度	26,923.00	5,000.00	33,900.00	33,900.00	103,723.00			5,700.00	109,423.00	5,600.00
大正十三年度	22,523.00	5,000.00	33,900.00	33,900.00	99,323.00			2,000.00	101,323.00	9,000.00
大正十四年度	37,717.00	4,700.00	47,900.00	47,900.00	138,317.00			6,800.00	145,117.00	14,900.00
大正十五年度	44,850.00	5,000.00	68,600.00	68,600.00	188,450.00			10,900.00	199,350.00	27,000.00
昭和元年度	55,860.00	6,000.00	82,300.00	82,300.00	244,520.00			13,900.00	258,420.00	27,000.00
昭和二年度	69,960.00	10,000.00	102,900.00	102,900.00	282,820.00			15,800.00	298,620.00	27,000.00
昭和三年度	92,327.00	13,000.00	139,900.00	139,900.00	357,527.00			17,700.00	375,227.00	27,000.00
昭和四年度	102,327.00	13,000.00	102,900.00	102,900.00	321,227.00			17,700.00	338,927.00	27,000.00
昭和五年度初					483,000.00			48,300.00	531,300.00	60,000.00
合計	442,000.00	57,500.00	1,240,000.00	1,240,000.00	4,885,000.00			821,000.00	5,706,000.00	600,000.00

備考 一、本表中昭和二年度迄ハ決算額ニシテ昭和三年度以降ハ豫算額ナリ
 二、昭和四年度借入金ノ内、1,000,000.00圓ハ短期借入金ニシテ昭和五年度初ニ償還ス

三、昭和五年度初借入金現在高二六、一四三、三七六圓ハ昭和五年度以降十九箇年間ニ區域内灌漑地ニ對シテ毎年賦償還ニ相當スル額ヲ賦課シ漸次償還ス
 四、歳入國庫補助金及歳出埤圳新設費中ニハ架橋費補助金ヲ以テ施行スル會文溪官田溪及渡頭溪水橋道路兼用工事費三十一萬九千四百圓ヲ含ム

第二次改訂計畫ニ依ル事業費年度割額

區分	總額									
	九年	正十年	正十一年	正十二年	正十三年	正十四年	正十五年	昭和二年	昭和三年	昭和四年
工事費	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00	10,100.00
工事調査費	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00	2,000.00
補充費	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00	5,700.00
會議費	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00	1,000.00
徴收費	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00	7,700.00
整理費	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00	5,000.00
合計	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00	28,500.00

則ち如上の改訂計畫の認可を臺灣總督に申請するに共に當該改訂計畫及改訂計畫に依る事業費年度割額に基きて更正豫算を編成し之に前年度より工事の一部と共に繰越たる二百四十二萬七千九百九十六圓四十一錢七厘を追加計上

して經理せしも年度内に於て用地費の支拂に至らざりしもの及び支分線工事に於て諸種の事情に依り多少遅延したるもの等ありて結局百十二萬一千百三圓四十八錢九厘を翌年度に繰越したり。昭和三年度歳入出更正豫算並決算大要左の如し。

昭和三年度歳入出更正豫算並決算

歳入

科 目	豫 算 額	決 算 額
水 租 及 費 用	一、三一八、五四〇・七三〇	一、二九七、三七三・八三〇
雜 入	一九二、三九二・〇〇〇	二四三、五二一・七八〇
經 常 費 ヲ リ 引 續	一、六四五・二七〇	一、六四五・二七〇
前 年 度 繰 越 金	二、四三七、一九六・四一七	二、四三七、一九六・四一七
補 助 金	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇	三、〇〇〇、〇〇〇・〇〇〇
負 債	一〇、六六五、七〇〇・〇〇〇	一〇、六六五、七〇〇・〇〇〇
合 計	一七、六一五、四七四・四一七	一七、六四五、四三七・二九七

歳出

科 目	豫 算 額	決 算 額
-----	-------	-------

埤 圳 新 設 費	七、九七六、四五六・三五四	七、〇七八、六五四・二三三
既 成 埤 圳 維 持 費	三六五、一八六・八三三	三二六、九八〇・四四六
負 債 償 還	八、九八七、五二三・〇〇〇	八、九八七、一五六・五七〇
雜 入	二八六、三〇八・二三〇	一三一、五四二・五六〇
翌 年 度 繰 入 金	一	一、二二一、一〇三・四八九
合 計	一七、六一五、四七四・四一七	一七、六四五、四三七・二九七

昭和三年度臨時賦課金は前年度と同じく一甲當五圓を賦課し埤圳新設工事完成し經營を開始せる部分に對しては既定方針に基きて別に維持費を賦課せり。即ち本年度に於て灌漑開始初年地として一甲當五圓を賦課したる面積一、〇四七甲七二三一灌漑開始二年目以後の地として一甲當八圓を賦課したる面積四〇、〇五九甲七八一六灌漑開始三年目以後の地にして受益の權衡上維持費一甲當八圓以外一甲當十圓宛の特別負擔金を賦課したる面積二三、四七四年目以後の地にして何れも年二回に分ちて之を徴收せり。本年度末に於ける其の收入狀況左の如し。

區 分	調 定 額	收 入 濟 額	收 入 未 濟 額	收 入 步 合
臨 時 賦 課 金	六八二、四二二・六九〇	六八二、二四八・五六〇	一七四、一三〇	九九九
維 持 費	三三六、九〇四・九〇〇	三二六、四五三・〇二〇	四五一、〇七〇	九九九
特 別 負 擔 金	一三五、三三四・三〇〇	一三五、二六三・二二〇	六一、一八〇	九九九

國庫補助金昭和三年度年度割額三百萬圓は年度初に於て下附を受けたり。

昭和三年度に於て借入るべき事業資金三百四十二萬五千圓は昭和四年度迄据置き昭和五年度以降十九箇年賦償還利率は据置期間中日歩一錢八厘償還期間中年利六分五厘にて臺灣總督府より借入れ又曩に日本勸業銀行より臺灣銀行を経て借入れたる事業資金七百三十三萬六千圓は年利九分昭和三年以降十七箇年賦償還（昭和五年度初に於て二百六十七萬八千五百六十五圓十六錢を臨時償還し殘額四百二十五萬圓は爾後十五箇年賦償還）の契約なりしも本年度に於て昭和三年度前期分を償還するに共に殘額七百二十四萬七百六十四圓六十九錢を臨時償還し七百二十四萬七百圓を年利八分一厘昭和三年十月一日以降十七箇年賦償還（昭和五年度初に於て二百六十八萬八千五百七十七錢を臨時償還し殘額四百二十三萬二千圓を爾後十五箇年賦償還）の契約にて直接日本勸業銀行より借入れたる。本年度末に於ける借入金現在高左の如し。

昭和三年度末借入金現在高

區分	借入高	償還高	現在高
産業獎勵資金日本勸業銀行ヨリ借入	五〇〇,〇〇〇 ^円	一九四,九四七 ^円	三〇五,〇五三 ^円
大藏省預金部ヨリ日本勸業銀行經由借入	四,三七八,〇〇〇	—	四,三七八,〇〇〇
日本勸業銀行ヨリ借入	一四,五七六,七〇〇	七,四三八,六四九	七,一三八,〇五一

臺灣總督府ヨリ借入	一一,五九四,〇〇〇	—	一一,五九四,〇〇〇
合計	三一,〇四八,七〇〇	七,六三三,五九六,〇〇〇	二三,四一五,一〇四

昭和四年度

本年度に於ては昭和四年二月の第二次改訂計畫及改訂計畫に依る事業費年度割額に基きて豫算を編成し前年度より工事と共に繰越したる額を追加計上して鋭意工程の進捗に努めたる結果年度末即ち昭和五年三月三十一日を以て遂に本圳新設工事の竣功を見るに至れり。昭和四年度歳入出豫算左の如し。

昭和四年度歳入出豫算

歳入	一,四六二,七四二,〇〇〇
水租及費用	—
雑入	一一四,〇三八,〇〇〇
前年度繰越金	三五,〇三一,〇〇〇
補助金	五,七三六,〇〇〇,〇〇〇
負債	八,六九六,〇〇〇,〇〇〇
合計	一六,〇四三,八一,〇〇〇

歳出

埤圳新設費	一〇、六六四、四七四・三〇〇
既成埤圳維持費	三六三、四三三・〇〇〇
負債償還	四、七八〇、三七一・〇〇〇
雜出	一三五、五三三・七七〇
合計	一六、〇四三、八一・〇〇〇

昭和四年二月二十八日認可を申請せし本圳新設事業改訂計畫は同年四月十八日附を以て左の如く認可ありたり。
指令第一二〇九號

公共埤圳嘉南大圳組合

昭和四年二月二十八日附嘉南庶發第九六〇號申請新設事業計畫變更ノ件認可ス

昭和四年四月十八日

臺灣總督 川村 竹治 閣

昭和四年二月の第二次改訂計畫に基きて同年四月二十三日國庫補助金二百六十六萬圓の増額下附を臺灣總督に申請せしに昭和四年五月三十日左の通り聽届けられたり。

公共埤圳嘉南大圳組合

指令第一八七七號

管理者 枝 徳 二

昭和四年四月二十三日附埤圳新設工事費ノ内國庫補助金二百六十六萬圓増額下附願ノ件聽届ク但シ別紙命令條件ヲ遵守スヘシ

昭和四年五月三十日

臺灣總督 川村 竹治 閣

命令條件

- 第一條 工事ハ昭和四年四月十八日指令第一二〇九號認可變更計畫書ニ據リ施行スベシ
- 第二條 補助金ハ本計畫工事以外ノ費途ニ使用スルコトヲ得ズ
- 第三條 事業計畫並竣功期限ヲ變更セムトスルトキハ臺灣總督ノ認可ヲ受クベシ
- 第四條 工事ノ設計並其ノ變更ハ臺灣總督ノ別ニ定ムル處ニ依リ承認ヲ受クベシ
- 第五條 水利ヲ受クベキ官租地ニハ本工事費ヲ負擔セシムルコトヲ得ズ
- 第六條 工事期間中毎年度ノ收支計算ハ翌年度五月三十一日迄ニ臺灣總督ニ報告スベシ其ノ計算書ニハ工事ノ進行明細書ヲ添付スベシ
- 第七條 臺灣總督ニ於テ必要アリト認ムルトキハ工事又ハ會計ノ監査ヲ爲スコトアルベシ此ノ場合ニ於テ必要ナル書類ノ査閲ヲ求メ又ハ提出ヲ命ジタルトキハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ
- 第八條 工事完成ノ見込ナシト認ムルトキ又ハ前各項ニ違背シタルトキハ補助金ノ下附ヲ取消シ既ニ下附セル補助金ノ全部若ハ一部ノ返還ヲ命ズルコトアルベシ

本州新設工事中官田溪及渡頭溪の兩水橋は曾文溪水橋と共に本島縦貫道路兼用として架設するを以て之が架橋費補助金として七萬六千圓の下附を仰ぐ事とし組合の決議を経て國庫補助金昭和四年度年度割額を合算して豫算中に計上するに共に昭和四年五月三日之が下附方を臺灣總督に申請せしに臺灣總督は同年九月二十一日指令第二千四百七十二號を以て之を聽届けられたり。

國庫補助金昭和四年度年度割額三百萬圓及昭和四年二月の第二次改訂計畫に伴ふ國庫補助金の増加額二百六十六萬圓は昭和四年四月及六月に於て下附を受け架橋費補助金七萬六千圓は同年十一月に於て下附を受けたり。

昭和四年度臨時賦課金は前年度と同じく一甲當五圓を賦課し埤圳新設工事完成し經營を開始せる部分に對しては既定方針に基きて別に維持費を賦課せり。即ち本年度に於て維持費を賦課したる面積四一、三九八甲八八七〇特別負擔金を賦課したる面積三八、四四二甲七七九六にして何れも年二回に分ちて之を徴收せり。又加入金を賦課したる面積は五四甲九六〇九なり。

昭和四年度に於て借入るべき事業資金五百九十二萬五千圓は、内二百八十七萬圓を年利六分五厘昭和五年度以降十九箇年賦償還にて臺灣總督府より借入れ、殘額三百五萬五千圓は之を普通銀行より借入る、豫定なり。猶ほ大正十四年度に於て大藏省預金部より日本勸業銀行を經由して借入れたる二百七十七萬一千圓を償還するため、同金額を年利五分五厘昭和九年度以降十五箇年賦償還にて臺灣總督府より借入れたり。本年度末に於ける借入金現在高左の如し。

昭和四年度末借入金現在高

區分	借入高	償還高	現在高
産業獎勵金日本勸業銀行ヨリ借入	五〇〇,〇〇〇 ^円	一三〇,六二四 ^円	二六九,三七六 ^円
日本勸業銀行ヨリ借入	二二,〇〇九,七〇〇	一〇,四二七,五八五	一一,五八二,一一五
臺灣總督府ヨリ借入	一七,二三五,〇〇〇	—	一七,二三五,〇〇〇
合 計	三九,七四四,七〇〇	一〇,六五八,二〇九	二九,〇八六,四九一

附記 昭和四年度歳入出決算即ち本州新設事業最終年度決算は本書を工事竣功と同時に刊行せむとしたる關係上此に之を掲記するを得ざりしなり。